

【計画の位置づけ、根拠法令等】

がん対策基本法第12条に基づく法定計画  
**奈良県がん対策推進条例第2条に位置づけ**  
 「なら健康長寿基本計画」「奈良県保健医療計画」と整合する計画

【計画期間】

令和6年度から令和11年度までの6年間

【策定の趣旨】

国の第4期計画の考えに基づきつつ、県の第3期計画の現状と課題から必要な取組を明らかにし、がん対策の総合的かつ計画的な推進を図る

基本理念

がんにならない、がんになっても安心できる 奈良県

新たな数値目標を計上

全体目標

めざすところ 「がんで亡くならない県、日本一」

【数値目標】

がん75歳未満年齢調整死亡率 27%減少  
 72.3 (H27) → 52.8 (R9)

1 県民ががんにならない、がんで若い人が亡くならない

2 すべてのがん患者とその家族の苦痛が軽減され、安心、納得のいく医療を受け、療養生活を送ることができる

3 すべての県民ががんを正しく知り、がんと向き合い、自分らしく生きられる地域共生社会をつくる

分野別施策

がん予防・早期発見

がん予防

めざす姿：県民ががん予防に取り組み、罹患が減少している。

- ・たばこ対策の充実
- ・健康的な生活習慣の普及
- ・感染症予防の充実

がんの早期発見

めざす姿：県民ががん検診の必要性をわかり、質の高いがん検診を受診できている。

- ・がん検診の受診促進
- ・がん検診精度管理の充実 等

がん医療

がん医療の充実

めざす姿：がん患者が、質の高いがん医療を受けることができている。

- ・がん医療提供体制の充実
- ・がん医療の質の向上
- ・患者目線でのがん診療情報の提供
- ・小児・AYA世代や高齢者等のがん医療の連携促進

がんと診断された時からの緩和ケア

めざす姿：がん患者等が、痛みやつらさが軽減され、療養生活に満足している。

- ・緩和ケア提供体制の充実
- ・緩和ケアの理解促進と情報提供の充実

地域連携

めざす姿：がん患者が、自分の望む場所で療養生活を送ることができる。

- ・拠点病院等の地域連携体制の充実
- ・在宅緩和ケア提供体制の整備及び充実

がん患者やその家族等への支援

相談支援・情報提供

めざす姿：がん患者等が、必要な情報を受け取れ、悩みや疑問が軽減している。

- ・相談支援機能の強化
- ・患者目線での情報提供の充実
- ・小児・AYA、高齢者等世代に応じた相談支援体制の整備

がん患者等の就労を含めた社会的問題への対応

めざす姿：働く意欲のあるがん患者は安心して働くことができる。

- ・がん患者の治療と仕事の両立支援体制の整備
- ・その他ライフステージに応じた社会的な問題について

がん教育・知識の普及啓発

めざす姿：子どもの頃からがんに関する正しい知識を持ち、がん予防や早期発見に注意を払っている。の重要性について理解している。

- ・中学・高等学校におけるがん教育の充実
- ・小学校（高学年）における啓発活動の推進
- ・がん対策全般に関する普及啓発の推進

がん登録

めざす姿：がん患者ががん登録データを活用した質の高いがん医療を受けることができている。

- ・がん登録の精度向上
- ・がん登録データを活用したがん対策の検討・実施
- ・データを活用した情報提供等

これらを支える基盤整備

## 基本理念

全体目標の目指す姿であり、基本的な理念は変わらないことから、第3期計画の内容を引き継ぐ。

## 県第3期計画

### <<基本理念>>

がんにならない、がんになっても安心できる奈良県

## 県第4期計画（案）

### <<基本理念>>

がんにならない、がんになっても安心できる奈良県

## 全体目標

- ・ 第3期計画同様、患者のあるべき姿を全体目標として掲げる。
- ・ 1. で若い人だけでなく県民全体でがんの死亡・罹患を低下させることを目標とすることから「若い人」を削除。
- ・ 2. で第3期計画では療養生活に含めていた医療をさらに充実させる観点から追加記載。
- ・ 3. でがんに対する正しい理解とそれぞれの希望を尊重した生活の実現を目指した表現とする（ただし、国の全体目標との整合性をふまえて検討する）。

## 県第3期計画

### <<全体目標>>

1. がんにならない、がんで若い人が亡くならない
2. すべてのがん患者とその家族の苦痛が軽減され、安心、納得のいく療養生活を送ることができる
3. すべての県民ががんを知り、がんに向き合い、希望を持って暮らせる地域共生社会をつくる

## 県第4期計画（案）

### <<全体目標>>

1. 県民ががんにならない、がんで亡くならない
2. すべてのがん患者とその家族の苦痛が軽減され、安心、納得のいく医療を受け、療養生活を送ることができる
3. すべての県民ががんを正しく知り、がんに向き合い、自分らしく生きられる地域共生社会をつくる

## 分野別施策

### がん予防・がんの早期発見

#### 【がん予防】

- ・めざす姿や施策の柱は3期計画の内容を引き継ぐ。
- ・たばこ対策も生活習慣の1つであるが、奈良県は喫煙率が最も低い県であり、引き続き対策を強化することから別項目とする。

#### 【がんの早期発見】

- ・めざす姿や施策の柱は3期計画の内容を引き継ぐ。
- ・検診受診率向上に向け、めざす姿に「がん検診の必要性がわかる」を追記。

### がん医療

#### 【がん医療の充実】

- ・めざす姿や施策の柱は3期計画の内容を引き継ぐ。
- ・がん医療提供体制の充実として、従来に加え、「がんゲノム医療提供体制の充実」「妊孕性温存療法提供体制の充実」の取組も強化。
- ・がん医療の連携について、今後高齢のがん患者がさらに増加し世代に応じた医療の提供や他部署との連携の充実が必要であることから「高齢者」という文言を追加。

#### 【がんと診断された時からの緩和ケア】

- ・めざす姿や施策の柱は3期計画の内容を引き継ぐ。
- ・施策の3本柱である「がん医療」に位置付けており、国も第4期計画から同じ位置づけとなる。

#### 【地域連携】

- ・めざす姿や施策の柱は3期計画の内容を引き継ぐ。

### がん患者や家族等への支援

#### 【相談支援・情報提供】

- ・めざす姿や施策の柱は3期計画の内容を引き継ぐ。
- ・世代に応じた相談支援体制の整備について、各ライフステージに合わせた相談支援及び情報提供の必要性が今後さらに高まることから「小児・AYA、高齢者等」の文言を明記。

#### 【がん患者等の社会的問題への対応】

- ・従来、がん患者の就労に関する内容を中心としていたが、就学支援やアピアランスケア等、ライフステージに応じた様々な問題への支援が必要であることから、「その他ライフステージに応じた社会的な問題について」を記載。
- ・上記に伴い、めざす姿の検討が必要。

### がん登録

- ・めざす姿や施策の柱は3期計画の内容を引き継ぐ。
- ・施策の3本柱を支える基盤整備に位置付けており、国も第4期計画から同じ位置づけとなる。

### がん教育・知識の普及啓発

- ・めざす姿は、「注意を払っている」から「がん予防や早期発見の重要性について理解している」に変更。
- ・施策の柱は3期計画の内容を引き継ぐ。
- ・がん教育推進会議にて引き続き検討。

# 骨子（案）へのご意見

※委員会・部会でのご意見、また委員へ個別に聴取したご意見を記載しています。

項目	委員からのご意見	
全体目標について	<ul style="list-style-type: none"><li>・全体目標1について、なぜ「若い人」という言葉が入っているのか。4期計画では「高齢者」という文言も追加となっていることを考慮すると「若い人」は不要と考える。</li><li>・全体目標3について、国協議会では「がんとともに」「自分らしく生きる」「克服」という文言について様々な意見があった。国の動向も踏まえて再検討が必要。</li><li>・数値目標は実現可能性の高い数値を検討してはどうか。</li></ul>	
分野別施策について	がん医療	<ul style="list-style-type: none"><li>・国ではがん患者の自殺対策に関する施策を立てている。以前より日本サイコオンコロジー学会や緩和医療学会などでも課題として挙がっている。実際に診断後のがん患者の自殺等もあり周りへの影響もあることから県においても対策として追加してはどうか。</li><li>・がん遺族のうつ病や自殺も多いため遺族に焦点を当てた取組も必要ではないか。</li></ul>
	がん患者等への支援	<ul style="list-style-type: none"><li>・「がん患者等」という書き方が曖昧。家族もつらい思いをし、第二の患者という位置付けにすることから「がん患者、家族」のような表記にしてはどうか。</li></ul>